

インプレッションマネジメント Impression Management

⑦⑧コミュニケーションに関する試案的公理

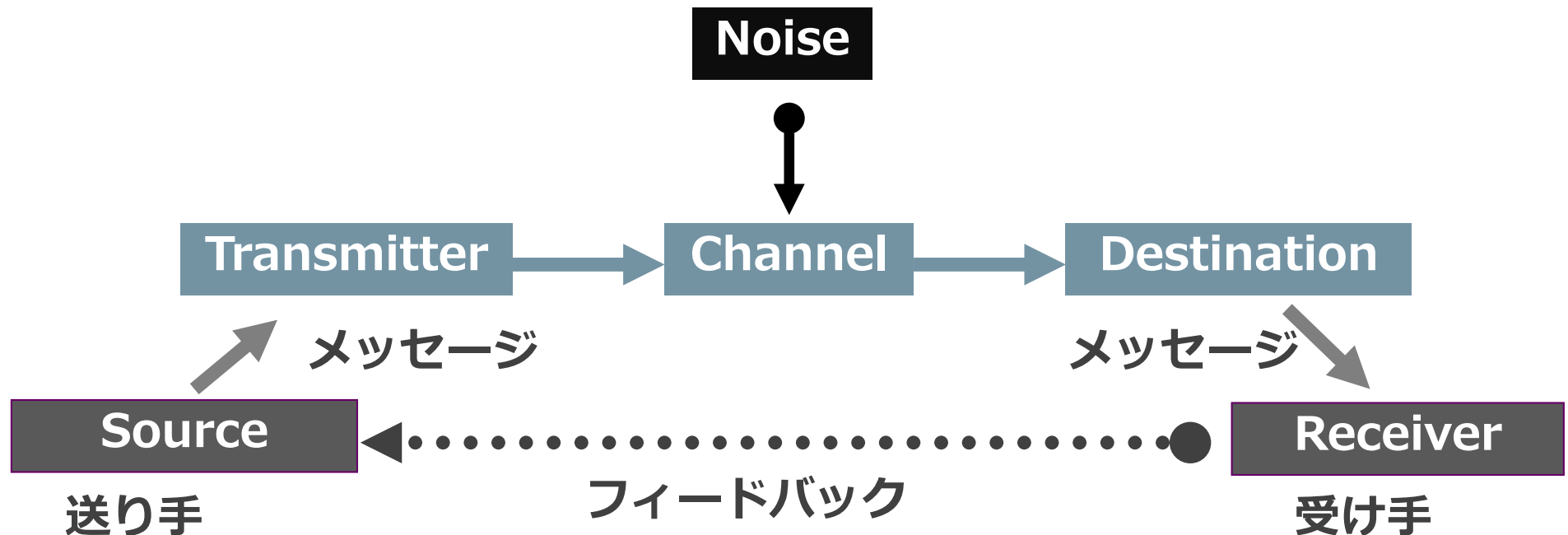
171214

担当：加藤文俊・若新雄純

一般的なコミュニケーションのモデル

シャノン=ウィーバーのモデル

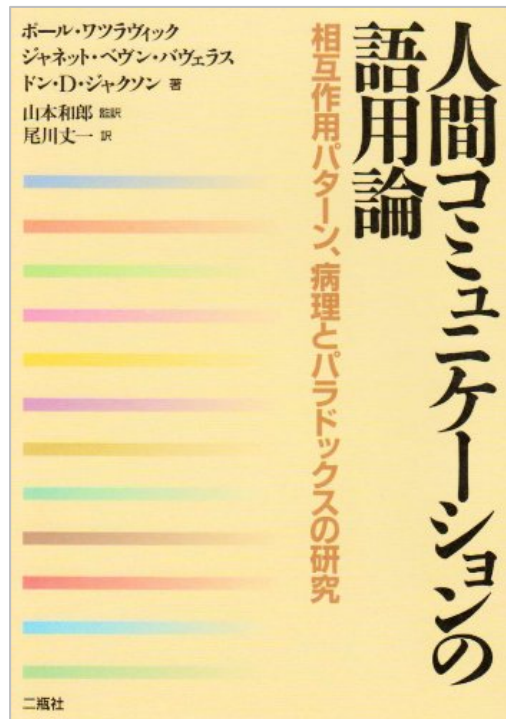
- コミュニケーションは「伝達」である…というメタファーが支配的



The Mathematical Theory of Communication (1949)

コミュニケーションにおけるいくつかの試案的公理

- 「インプレッションマネジメント」について語る準備として
- 「公理」…作業用の基本前提



ポール・ワツラヴィックほか（2007）
『人間コミュニケーションの語用論：相互作用パターン、病理とパラドックスの研究』（二瓶社）

Pragmatics of Human Communication: A Study of Interactional Patterns, Pathologies and Paradoxes

5つの試案的公理

1. コミュニケーションしないことの不可能性
2. コミュニケーションの内容と関係のレベル
3. 連続した事象の分節化
4. デジタルおよびアナログ・コミュニケーション
5. シンメトリックおよびコンプリメンタリック的相互作用

1 : コミュニケーションしないことの不可能性

5|8

- One cannot not communicate
- すべての行動はコミュニケーションである。
- いかなる行動もメッセージ性をもつ。
 - 〈行動しない〉ということも、〈行動〉として理解することができる。
- コミュニケーションせざるをえない

すべての行動がメッセージとしての価値をもつ

混んだ店で昼食をとりながら真っ直ぐ前を見ている人や、目を閉じて座っている飛行機の乗客は二人とも「誰とも話したくない、話しかけられたくない」という情報を送っているのである。

そしてたいていの場合、そばにいる人はそのメッセージを受け、その人たちをひとりにさせておくという適切な反応をしているのである。

これは、明らかに活発な討論と同じく、情報の交換なのである。（p. 32）

参考：RAMとROM（初期の研究における観察結果）

- パソコン通信上のコミュニケーション
 - 川上ほか（1993）『電子ネットワーキングの社会心理』（誠信書房）
- 利用上の問題点として指摘される「RAM 1 人にROM10人」
 - フォーラムへの書き込み・チャットでのおしゃべり：情報の受信が多く、発信が少ない。
 - 電子掲示板 79% — 19%
 - フォーラム 62% — 30%
 - チャット 16% — 11%

参考：RAMとROM（初期の研究における調査結果）

- 川上（1990）「コンピュータ・コミュニケーションによるネットワーク形成に関する研究：オンラインコミュニティの可能性」『情報研究』11, pp. 129-147.
- ネットワーク加入者 125,000人に対して、電子会議での発言経験者（発信経験者）は15,000人（およそ12%）
- 「書き込みにくさ」の問題を指摘

2 : コミュニケーションの内容と関係のレベル

- Content and relationship levels
- 1 から : どのコミュニケーションも関わり合いを伴い、それゆえコミュニケーションは関係を定義する
 - コミュニケーションは情報を伝達すると同時に行動を規定する。
 - 「報告」と「命令」 (Bateson, 1951)
 - 「内容」と「関係」

メッセージの内容と関係性：例

- 徐々に、なめらかにクラッチをゆるめましょうね。
 - そんなふうにクラッチをゆるめたら、トランスミッションが一発でこわれるよ。
-
- 「報告」の側面ではほぼおなじ情報内容
 - 「命令」の側面では全くことなった関係性

メッセージの内容と関係性

- 自発的で“良い”関係になればなるほど、関係性についてはあまり意識しない（できない）。
- “良くない”関係は、関係（関係性）の性質に恒常的に取り組むことによって特性化され、内容的な側面は重要性をうしなっていく。
 - 関係性（関係の意味）は、かならずしも明確化されていない。

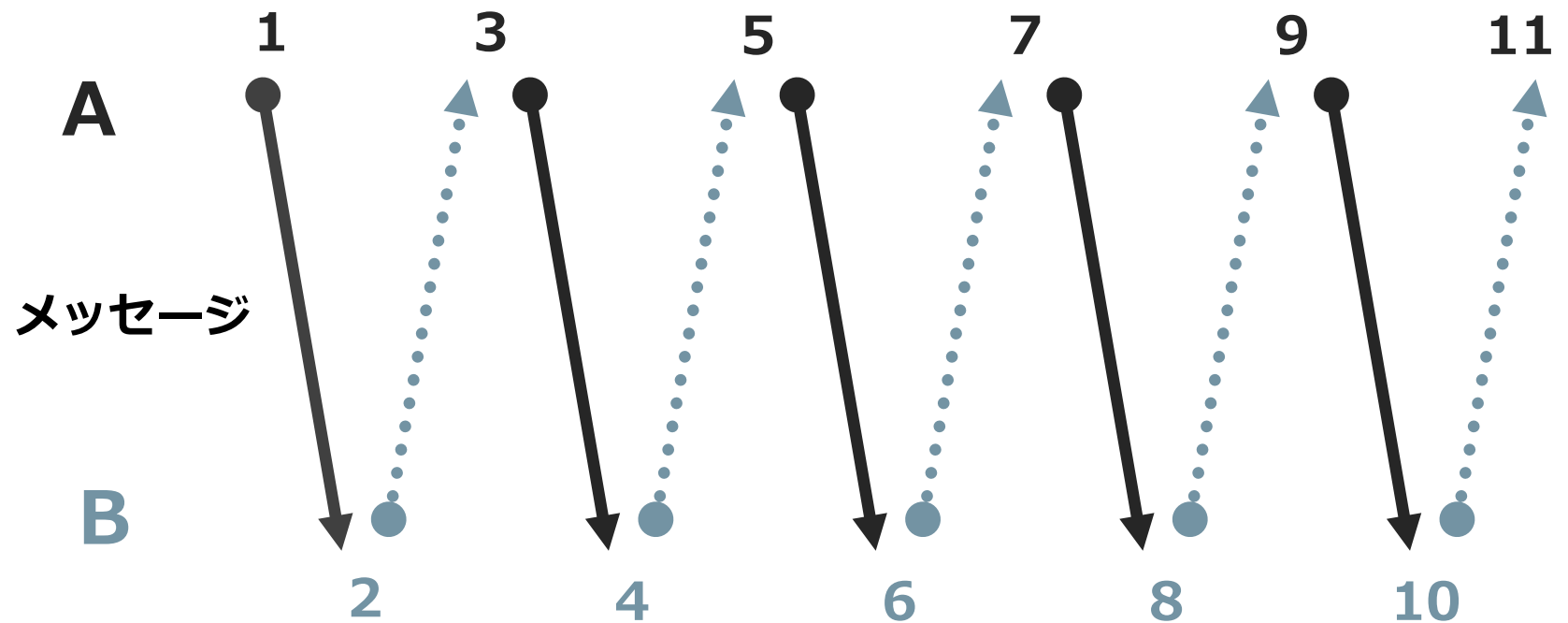
3 : 連続した事象の分節化

- Punctuation of sequence of events
- 外部の観察者に対しては、一連のコミュニケーションのつながりは、絶え間ない交換の連続として見られる。
 - コミュニケーションは、〈プロセス〉である
 - 「はじまり」と「おわり」をどのように理解するか

連続した事象の分節化

- 相互作用の参与者は、「連続した事象の分節化」をつねにもたらす。
 - 分節化の結果、どちらかが指導的、支配的、依存的、あるいはそれらに似たような状態にあるように見える。
 - 分節化が行動的な事象を組織化する。
 - 文化として、分節化の因習を共有している。
 - たとえば：リーダーとフォロアー

Watzlawickらによるコミュニケーションのモデル



Pragmatics of Human Communication (1967)

シーケンスをどう理解するか

- 関係性は、コミュニケーションのプロセスをどのように「区切る」かによって、多様に理解できる。
- また、ことなる〈場〉における関係性は連動している場合が多い。

4 : デジタルおよびアナログ・コミュニケーション

- Digital and analogic communication
- デジタルとアナログ
- 内容（メッセージ）と関係性

アナログ的コミュニケーション

- 非言語的コミュニケーション
 - 姿勢・ジェスチャー・表情・声（トーン）・リズム・抑揚

デジタルとアナログとの関係性

- デジタル的コミュニケーションは、論理的（ある程度の再現性がある）だが、関係性の意味づけは容易ではない。
- アナログ的コミュニケーションは、関係性の意味づけが可能であるが、曖昧さを排除した定義は容易ではない。

5 : シンメトリ的・コンプリメンタリーの相互作用

- Symmetrical and complementary
- 対照的なコミュニケーション
- 相補的なコミュニケーション

対照的か相補的か

- 対照的な関係性
 - 「同一性」にもとづいて規定される
- 相補的な関係性
 - 「差異」にもとづいて規定される
 - 社会的・文化的文脈によって規定されることが多い（母と子；患者と医者；学生と教員）

まとめ

1. コミュニケーションせざるをえない
2. コミュニケーションはつねに関係性を示唆する
3. 「はじまり」と「終わり」は流動的
4. アナログの意味づけの重要性
5. 個人の〈位置〉は、関係性によって相対的に決まる

課題：コミュニケーションを「定義」する

- 「定義とは」についても考える
- 「コミュニケーションとは何か」
- 「コミュニケーションとは、●●●である。」
- 個人またはグループで考える
- 2017年12月21日（木）の講義でアイデア（成果）を報告する
 - 必要に応じて資料を準備しておいてください

コンセプトの生成：メタファーによる思考

- メタファーとは何か
- 思考方法としてのメタファーの特質
- あたらしいメタファーは何か

メタファーとは

- メタファー（隠喩）

- **A is as...as B, A is like B** の形式ではなく、**A is B** の形式で比喩を表現する修辞法
- メタファーとは、〈見立て〉である。

必須の表現手段

- メタファーは、〈装飾〉ではなく、〈必須の表現手段〉として考える。
 - ある対象に、それを文字通りに言い表す名称が欠けていることがしばしばある。

メタファーの本質

- **メタファーの本質は、ある事柄を他の事柄を通して理解し、経験することである。**
 - 例示的な表現の可能性を拡げる。
 - すでに親しみやすい〈もの・こと〉を使って説明する。

考えは植物である。

- 彼の考えはついに実を結んだ。
- 芽を出しかけたばかりの理論だ。
- その思想が開花するには何年もかかるだろう。
- 彼女は多産な想像力をもっている。
- これがあなたの頭の中に植えつけておきたい思想だ。
- 彼の頭脳は不毛だ。
- 彼の偉大な思想の種子は青年時代に蒔かれたものであった。

考えは切る道具である。

- それは鋭い考えだ。
- 問題の核心に切り込んでいる。
- 切るような（辛らつな）発言だった。
- 彼は頭が切れる。
- 彼女の機知はカミソリのように鋭い。
- 彼女は彼の主張をズタズタに切り裂いた（完膚なきまでに論破した）。
- 彼は鋭い頭脳の持ち主だ。

人生は容器である。

- 私は満ちた（充実した）生活をしてきた。
- 彼にとって人生は空っぽである（空しい）。
- 彼女の生活はいろいろな活動が詰まっている。
- 彼の人生には悲しいことがいっぱいあった。
- 彼には人生に多くが残っていない（余生があまり残っていない）

恋愛は旅である。

- 二人は岐路に立っている。
- 別々の道を行かなければなくなる。
- ぼくらはもう引き返せない。
- 長いデコボコ道だった。
- この関係は袋小路だ。
- ぼくらは脱線してしまった。
- ぼくらの結婚は暗礁に乗りあげている。

コミュニケーションについて語る際の主要なメタファー

- 「導管 (Conduit)」メタファー (Reddy, 1979)
 - 「伝達」としてのコミュニケーション
 - 「伝達」としての教育

「導管 (Conduit)」メタファー

Reddy, M (1979) Metaphor and Thought

- Ideas (or meanings) are objects.
 - 考え（あるいは意味）はモノである。
- Linguistic expressions are containers.
 - 言語表現は容器である。
- Communication is sending.
 - コミュニケーションは送ることである。

「導管」メタファーにもとづくコミュニケーションのモデル

「導管（conduit）」メタファー

1. 話し手は考え（モノ）を言葉（容器）に盛る。
2. そして、（導管を通して）それを聞き手に送る。
3. 聞き手は考え（モノ）を言葉（容器）から取り出す。

「導管 (Conduit)」メタファー：1

- It is hard to *get* that idea *across* him.
 - その考えを彼に通じさせる（わからせる）のは難しい。
- I *gave* you that idea.
 - その考えをあなたにあげた（教えた）。
- Your reasons *came through* to us.
 - 君の理屈はわれわれに伝わってきた（腑に落ちた）。

「導管 (Conduit)」メタファー：2

- It is difficult to *put* my idea *into* words.
 - 自分の考えを言葉の中に入れる（言葉に表す）のは難しい。
- The meaning is right there *in* the words.
 - その意味はまさにその言葉の中にある。
- His words *carry* little meaning.
 - 彼の言葉はほとんど意味を運んでいない（意味がない）。

「導管 (conduit)」メタファー

- 「導管」として語ることによって、際立つのはどのような側面か
- 「導管」として語ることによって、覆い隠される側面は何か
- 代替的なメタファーは何か

議論は戦争である。
コミュニケーションは戦争である。

- 君の主張は守りようがない。
- 彼は私の議論の弱点をことごとく攻撃した。
- 彼の批判は正しく的を射ていた。
- 私は彼の議論を粉碎した。
- 私は彼女との議論に一度も勝ったことがない。
- そんな戦法ではやられてしまう。
- 彼は私の議論をすべて撃破（論破）した

メタファーによる構造化

- たとえば、「議論は戦争である」というメタファーは、われわれが議論する際にとる行動や、その行動の理解のしかたに（少なくとも部分的に）構造を与えている。
 - レイコフ&ジョンソン『レトリックと人生』

議論はダンスである。
コミュニケーションはダンスである。

- リズム感／スピード感
- パートナー
- ノリとキレ
- 見る＝見られる
- 演じる（オーディエンスの存在？）